

(様式第 2 号)

SDGs 達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに、チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・これから取り組む項目については、取組内容の記載の前に、【予定】と記載し、これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（ 有限会社 長崎産業 ）

分類	NO	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
組織体制	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している。	●		・経営方針や経営目標を社内へ掲示し、全社員に共有している。朝礼時において唱和を行っている。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・掲げている社内方針により、法令遵守の考えが社内で浸透されており、担当部署間の管理により、法令を確実に順守する体制や仕組みを構築している。																16	
	3	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・環境への取組みに関して担当部署や管理者を定めており、水質汚染や大気汚染等、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応するための体制が構築されている。																16	
	4	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・地域住民や行政機関とのコミュニケーションの充実化を図り、自社活動が及ぼす影響を共有・把握することで、適切に対応している。																16	17
	5	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる。		●																	16	
	6	【災害や事故などのリスクへの備え】 ・自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・緊急時の連絡体制や責任者を定め、社員全体に共有することで、自然災害や突然の事故等のリスクの備えを行っている。災害時における行政や建設会社からの要請に対しても、自社の営業車両（生コン車・ショベル）を貸出すことで、地元地域に貢献している。									9		11		13.1			16	17
	7	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・後継者への指導・育成を行い、事業承継に向けた取組を行っている。								8	9								17
公正な取引	8	【贈収賄の禁止、公正な競争】 ・汚職・贈収賄の禁止及び不正な競争に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		・役員を中心にコンプライアンス教育を徹底して行い、雇用形態にかかわらず全社員に対して共有している。										10						16.5	
	9	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・意匠権、商標権、著作権等の侵害にあたらないよう、適切な取扱いと保護に努めている。								8.2 8.3	9								
	10	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・取引先情報や社員の個人情報（マイナンバー・履歴書等）は、役員と事務長の特定した2名のみしか触れないよう、徹底管理している。																16	
	11	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・生コンクリート協同組合による定期的な研修や労務監査の実施により、環境への配慮、従業員が安心して働ける職場環境づくり等、業界全体で共有し、向上・改善に取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	12	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
人権・労働	13	【差別・ハラスメントの禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内では差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制運営を心がけている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	14	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理徹底や年次有給休暇などの積極的な取得（従業員年平均10日の有給取得）、週休2日制の推奨により、仕事と家庭の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。					5.5			8.5 8.8		10.3							
	15	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・従業員にはヘルメットや安全靴、空調服等の安全具一式を支給し、安全でかつ快適な職場環境の整備に取り組んでいる。								8.8									
	16	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・人材採用に人種、性別、国籍などの違いによる差別的待遇はなく、職場内研修等を通じ、多様な人材が十分に活躍できるための職場環境を整えている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	17	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・出水、阿久根、川内地区における同業事業者との合同講習会や勉強会、各種資格取得の為の講習会への参加等、従業員の人材育成を積極的に行っている。				4	5.5			8	9								

(様式第 2 号)

SDGs 達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに、チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・これから取り組む項目については、取組内容の記載の前に、【予定】と記載し、これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（ 有限会社 長崎産業 ）

分類	NO	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
人権・労働	18	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・正社員、アルバイト社員共に法律の規定に則った公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	19	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・年1回の定期健康診断の実施やメンタルヘルス研修を行い、従業員の健康管理・メンタル管理に努めている。			3					8									
	20	【DXの推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	【予定】自動検出装置の導入により、人的に行っている作業工程を自動化することで、業務の作業効率化を目指す。								8	9.1		11	12					
	21	【労働環境改善に関する県の登録・認定】 ・労働環境改善に関する県の登録・認定を受けている。 （例）鹿児島県女性活躍推進宣言企業、かごしま子育て応援企業、かごしま「働き方改革」推進企業		●				3	4	5			8		10							
環境	22	【廃棄物・有害化学物質の管理等】 ・関係法令に基づき適切に廃棄物や有害化学物質の管理及び処理に取り組んでいる。	●		・ミキサー車やプラント内の洗浄工程などで発生する汚染水（アルカリ性）を専用の装置を用いて中和処理を行い、環境への負荷を最小限に抑えている。			3.9			6.3					11.6	12.3 12.4 12.5		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・社内照明のLED化等、電力エネルギーの削減に取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・排ガス規制に適合した環境性能の高い車両設備を導入し、温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、かごしま認定リサイクル製品等）。	●		・コンクリート製造に伴って排出される残コンや汚泥を再資源化したリサイクルブロックなど環境に配慮した製品の開発・製造に取り組んでいる。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	26	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している。	●		・自社活動が生態系に悪影響を及ぼさないよう、廃棄物の適正処理、水質や大気汚染防止等、管理者を中心に徹底した管理を行っている。						6.6								14	15		
	27	【3Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・生コンクリート製造時に発生する残コンを廃棄せず、リサイクルブロックとして有効活用することで、廃棄物の削減と資源の循環利用に取り組んでいる。						6.3			9.4		11.6	12.2 12.4 12.5	13	14.1	15		
	28	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている。		●	・地下水をボーリングによりくみ上げ、中和装置で処理した水を適切に管理し、水資源の有効活用と利用効率に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している。		●				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	31	【環境情報開示】 ・環境の取組に関する情報を正しく開示している。		●													12.6					
	32	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善や再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・営業車のハイブリッドカーの導入、作業現場における車両の乗り合い、事務所内照明のLED化など、エネルギー使用率の改善に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4				13.1 13.3				
	33	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●													12.2	13	14	15		
	34	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・植林等、持続的な森林利用への取組を推進している。		●	・森林循環紙などの持続可能な資源から製造された再生紙を利用するなど、森林資源の循環利用に取り組んでいる						6.1 6.3 6.6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		

(様式第2号)

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに、チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・これから取り組む項目については、取組内容の記載の前に、【予定】と記載し、これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（ 有限会社 長崎産業 ）

分類	NO	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	35	【海洋ごみ】 ・プラスチックの使用削減等海洋ごみの削減や、海洋汚染の防止に貢献している。		●	・工場内や現場で発生したゴミの分別回収による資源のリサイクル、中和装置を活用した汚染水の適正処理等、海洋ゴミの削減や海洋汚染防止に貢献している。												12.2 12.5		14			
	36	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境に配慮した自動車の使用を促進している。		●	・ハイブリッドカーや排ガス規制対応の営業車の導入等、環境に配慮した自動車の使用を促進している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質確保】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・製造過程における試験室での品質チェックの実施等、全社員が共有するマニュアルに基づき、製品の安全性や品質を確保するため仕組みや体制を構築している。									9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・JISマーク認証の製品の取り扱い等、誰もが安心して利用しやすいサービスを提供している。									9.1	10	11.7						17
	39	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・残コンや汚泥を再資源化した製品の開発など、循環型社会の実現に向けた取組を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会・地域貢献	40	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・グループ会社が実施する地域の清掃活動への参加、職場体験の受け入れ、地域イベントへの寄付等、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	41	【地域資源】 ・地域産物等の地域資源を積極的に利用（地産地消等）している。		●	・コンクリート製造に必要な原材料は、近隣地域を中心とした鹿児島県産のものを使用するなど、地域資源を積極的に利用している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	42	【インターンシップの受入れ等】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、出前講座の実施など、地域の児童や学生に対し、学びの場を提供している。		●	・地域内の高校を対象とした職場体験の受け入れなど、学びの場を提供している。				4				8.6		10.2							17
	43	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組を行っている。		●	・近隣高校への求人案内の実施、北薩地域振興局の企業ガイドブックへの掲載など、若者の地元就職を促進している。				4.4				8.5 8.6									17
	44	【持続可能な観光の実現】 ・持続可能な観光（サステナブルツーリズム）の実現に寄与する取組を実施している。		●									8	9		11	12		14	15		17
	45	【条件不利地域の振興】 ・条件不利地域（離島や中山間地域等）の振興に寄与する取組を実施している。		●			2	3	4			7	8	9	10	11	12		14	15		17
	46	【移住・交流の促進と関係人口の創出・拡大】 ・地域外からの移住・交流の促進や、関係人口（※）の創出・拡大に寄与する取組を実施している。（※移住した「定住人口」や、観光に来た「交流人口」ではない、地域や地域の人々と多様に関わる人々）		●									8			11	12			15		17